

2020年度後期 講義概要

授業科目名	臨床診断学
主担当教員名	伊藤俊之
配当学年 等	第4学年

質の高い医療は的確な診断がなされてこそ成り立つ。診断学序論に引き続き系統別講義で種々の疾患を学んだ後に、症候・病態からのアプローチ法を学ぶことにより、より適切な鑑別診断を行う臨床能力を養うことを目標とする。

【症候・病態からのアプローチ】

(1) 発熱

- ①発熱の原因と病態生理を説明できる。
- ②発熱をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③発熱がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(2) 全身倦怠感

- ①全身倦怠感の原因と病態生理を説明できる。
- ②全身倦怠感をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③全身倦怠感がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(3) 食思（欲）不振

- ①食思（欲）不振の原因と病態生理を説明できる。
- ②食思（欲）不振をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③食思（欲）不振がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(4) 体重減少・体重増加

- ①体重減少・体重増加の原因と病態生理を説明できる。
- ②体重減少・体重増加をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③体重減少・体重増加がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(5) ショック

- ①ショックの原因と病態生理を説明できる。
- ②ショックをきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③ショック状態にある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(6) 心停止

- ①心停止の原因と病態生理を説明できる。
- ②心停止をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③心停止患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(7) 意識障害・失神

- ①意識障害・失神の原因と病態生理を説明できる。
- ②意識障害・失神をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③意識障害・失神がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(8) けいれん

- ①けいれんの原因と病態生理を説明できる。
- ②けいれんをきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③けいれんがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(9) めまい

- ①めまいの原因と病態生理を説明できる。
- ②めまいをきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③めまいがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(10) 脱水

- ①脱水の原因と病態生理を説明できる。
- ②脱水をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。

③脱水がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(11) 浮腫

①浮腫の原因と病態生理を説明できる。

②浮腫をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。

③浮腫がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(12) 発疹

①発疹の原因と病態生理を説明できる。

②発疹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。

③発疹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(13) 咳・痰

①咳・痰の原因と病態生理を説明できる。

②咳・痰をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。

③咳・痰がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(14) 血痰・喀血

①血痰・喀血の原因と病態生理を説明できる。

②血痰・喀血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。

③血痰・喀血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(15) 呼吸困難

①呼吸困難の原因と病態生理を説明できる。

②呼吸困難をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。

③呼吸困難がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(16) 胸痛

①胸痛の原因と病態生理を説明できる。

②胸痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。

③胸痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(17) 動悸

①動悸の原因と病態生理を説明できる。

②動悸をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。

③動悸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(18) 胸水

①胸水の原因と病態生理を説明できる。

②胸水をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。

③胸水がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(19) 嚥下困難・障害

①嚥下困難・障害の原因と病態生理を説明できる。

②嚥下困難・障害をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。

③嚥下困難・障害がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(20) 腹痛

①腹痛の原因と病態生理を説明できる。

②腹痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。

③腹痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

(21) 悪心・嘔吐

①悪心・嘔吐の原因と病態生理を説明できる。

## 学習目標

- ②悪心・嘔吐をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③悪心・嘔吐がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （２２）吐血・下血
- ①吐血・下血の原因と病態生理を説明できる。
  - ②吐血・下血をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③吐血・下血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （２３）便秘・下痢
- ①便秘・下痢の原因と病態生理を説明できる。
  - ②便秘・下痢をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③便秘・下痢がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （２４）黄疸
- ①黄疸の原因と病態生理を説明できる。
  - ②黄疸をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③黄疸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （２５）腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤
- ①腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤の原因と病態生理を説明できる。
  - ②腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （２６）貧血
- ①貧血の原因と病態生理を説明できる。
  - ②貧血をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③貧血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （２７）リンパ節腫脹
- ①リンパ節腫脹の原因と病態生理を説明できる。
  - ②リンパ節腫脹をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③リンパ節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （２８）尿量・排尿の異常
- ①尿量・排尿の異常の原因と病態生理を説明できる。
  - ②尿量・排尿の異常をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③尿量・排尿の異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （２９）血尿・蛋白タンパク尿
- ①血尿・タンパク尿の原因と病態生理を説明できる。
  - ②血尿・タンパク尿をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③血尿・タンパク尿がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （３０）月経異常
- ①月経異常の原因と病態生理を説明できる。
  - ②月経異常をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③月経異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （３１）不安・抑うつ
- ①不安・抑うつの原因と病態生理を説明できる。
  - ②不安・抑うつをきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
  - ③不安・抑うつがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。
- （３２）もの忘れ

- ①もの忘れの原因と病態生理を説明できる。
- ②もの忘れをきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③もの忘れがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

（33）頭痛

- ①頭痛の原因と病態生理を説明できる。
- ②頭痛をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③頭痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

（34）運動麻痺・筋力低下

- ①運動麻痺・筋力低下の原因と病態生理を説明できる。
- ②運動麻痺・筋力低下をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③運動麻痺・筋力低下がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

（35）腰背部痛

- ①腰背部痛の原因と病態生理を説明できる。
- ②腰背部痛をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③腰背部痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

（36）関節痛・関節腫脹

- ①関節痛・関節腫脹の原因と病態生理を説明できる。
- ②関節痛・関節腫脹をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。
- ③関節痛・関節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

（37）外傷・熱傷

- ①外傷・熱傷の病態生理を説明できる。
- ②外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。
- ③外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。

【漢方医学】

- 1) 漢方医学の特徴を述べることができる。
- 2) 現代医療における漢方医学の適応と限界を示すことができる。
- 3) 漢方医学の基本概念について説明できる。
- 4) 漢方医学の診察法について説明できる。
- 5) 漢方医学の診断（証）と随証治療について説明できる。
- 6) 和漢薬の特徴、薬理作用、副作用について説明できる。  
(漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる。)
- 7) 漢方医学に関するエビデンスを列挙することができる。
- 8) 現代医療における漢方医学の有用性を述べることができる。

【腫瘍】

（1）診断

- 1) 腫瘍の細胞診と組織診の違いを説明できる。
- 2) 腫瘍の画像診断を概説できる。
- 3) 腫瘍の遺伝子診断を概説できる。
- 4) 腫瘍マーカーの意義を説明できる。
- 5) 悪性腫瘍の病期分類を概説できる。
- 6) 悪性腫瘍の予後因子を概説できる。

	この順番に従って講義するものではないが、全体で「医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）」の到達目標や、漢方医学卒前教育の到達目標（日本東洋医学会学術教育委員会2008年版）を達成できるように講義を行う。
<b>授業概要</b>	症候学すなわち、種々の症候・病態からいかに診断に到達するかについて学ぶ。 症候・病態としては「モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会」によって示された「医学教育モデル・コア・カリキュラム（平成28年度改訂版）」に挙げられている項目をほぼ網羅的に取り上げる。さらに、東洋医学やがんの症候についても学ぶ。

《授業計画表》

年月日(曜)	時限	担当教員	項目	内容	課題有・無	授業形式(原則、対面。)
令和 2年10月02日(金)	4時限	長尾 大志	咳・痰/血痰・喀血		有	Web class
令和 2年10月02日(金)	5時限	長尾 大志	呼吸困難/胸水		有	Web class
令和 2年10月05日(月)	2時限	神前 英明	めまい		有	対面
令和 2年10月05日(月)	3時限	久米 真司	浮腫		有	対面
令和 2年10月05日(月)	4時限	藤井 久彌子	不安・抑うつ		有	対面
令和 2年10月06日(火)	3時限	辻川 知之	便秘・下痢		有	対面
令和 2年10月06日(火)	4時限	辻川 知之	食思(欲)不振		有	対面
令和 2年10月06日(火)	5時限	荒木 信一	蛋白尿		有	対面
令和 2年10月07日(水)	3時限	森野 勝太郎	体重減少・体重増加		有	対面
令和 2年10月07日(水)	4時限	松原 英俊	発熱		有	対面
令和 2年10月07日(水)	5時限	松原 英俊	全身倦怠感		有	対面
令和 2年10月08日(木)	1時限	漆谷 真	運動麻痺・筋力低下・感覚異常		有	対面
令和 2年10月08日(木)	2時限	卯木 智	脱水		有	対面
令和 2年10月09日(金)	1時限	高橋 健太郎	月経異常		有	対面
令和 2年10月09日(金)	2時限	藤本 徳毅	皮疹(発疹)からの診断学を学ぶ		有	対面
令和 2年10月12日(月)	1時限	田畑 貴久	ショック		有	対面
令和 2年10月12日(月)	2時限	芦原 貴司	動悸・心停止		有	対面
令和 2年10月12日(月)	3時限	植木 智之	腹痛		有	対面
令和 2年10月12日(月)	4時限	金 一暁	嚥下困難・障害		有	対面
令和 2年10月13日(火)	3時限	北村 彰浩	もの忘れ		有	対面
令和 2年10月13日(火)	4時限	大野 将司	吐血・下血		有	対面

令和 2年10月14日(水)	3 時限	山本 孝	胸痛		有	対面
令和 2年10月14日(水)	4 時限	藤本 剛英	悪心・嘔吐		有	対面
令和 2年10月15日(木)	1 時限	岩佐 磨佐紀	リンパ節腫脹		有	対面
令和 2年10月15日(木)	2 時限	樋口 明日香	腹部膨隆（腹水含む）・腫瘤		有	対面
令和 2年10月15日(木)	3 時限	西村 理恵	黄疸		有	対面
令和 2年10月16日(金)	1 時限	高橋 健太郎	漢方医学診断 1		有	対面
令和 2年10月16日(金)	2 時限	高橋 健太郎	漢方医学診断 2		有	対面
令和 2年10月19日(月)	1 時限	河内 明宏	血尿/尿量・排尿の異常		有	対面
令和 2年10月19日(月)	2 時限	椎野 顯彦	頭痛		有	対面
令和 2年10月20日(火)	3 時限	南口 仁志	貧血		有	対面
令和 2年10月20日(火)	4 時限	真田 充	意識障害・失神		有	対面
令和 2年10月21日(水)	3 時限	安藤 厚生	腰背部痛/関節痛・関節腫脹		有	対面
令和 2年10月21日(水)	4 時限	醍醐 弥太郎	がんの症候		有	対面
令和 2年10月22日(木)	1 時限	古川 央樹	チアノーゼ		有	対面
令和 2年10月22日(木)	2 時限	河原 真大	出血傾向		有	対面
令和 2年10月22日(木)	3 時限	底田 辰之	けいれん		有	対面
令和2年11月2日（月）	14:30～ 16:00	—		試験	—	対面
<b>授業形式・ 視聴覚機器の利用</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義を主体とする。</li> <li>・講義資料、課題やレポート等はWebclassを使用する。</li> </ul>					
<b>評価方法</b>	第3学年診断学序論の講義内容をも範囲に含めて試験により評価する。					
<b>教科書・ 参考文献</b>	内科診断学、医学書院 内科診断学、南江堂 誰も教えてくれなかった診断学—患者の言葉から診断仮説をどう作るか、医学書院 ベイツ診察法 第2版、MEDSi ベイツ診察法ポケットガイド 第3版、MEDSi サパイラ 身体診察のアートとサイエンス 原書第4版、医学書院 マクギーの身体診断学、診断と治療社 異常値の出るメカニズム 第7版、医学書院 臨床検査法提要(改訂第34版)、金原出版 学生のための漢方医学テキスト、南江堂 基本としくみがよくわかる東洋医学の教科書、ナツメ社 入門腫瘍内科学、篠原出版新社					
<b>学生への メッセージ</b>	患者さんは様々な症候を訴えてこられます。 どんな患者さんにも対応できるよう、適切な鑑別診断を行う臨床能力を身につけよう。					